

My Favorite Place

上十三支部 花田元

皆様こんにちは。今回、My Favorite Place を担当することとなった上十三支部の花田元と申します。My Favorite Place ということですが、私は趣味の読書について書きたいと思います。

私は小説をよく読みます。単行本よりも文庫本派です。読み始めた本がある時はいつも持ち歩いています。きれいに保つためにブックカバーは必須です。新幹線に乗る前には本を買いたくなります。あの衝動は何なのでしょう。

まず、私が思う読書の良いところを三つ挙げます。一つ目は、没入できることです。本を開けばすぐに本の世界に入り込むことができます。やらなければならないことも忘れるくらいです。終盤には続きが気になってしまい、一気に 100 ページも読んでしまうこともあります。二つ目は、表現が素晴らしいところです。登場人物の思いや緊張感が映像なしで伝わってきます。文章で表すことは難しいと思うのですが、普段の何気ない情景さえ言い回しや比喩表現、細かい描写などによりその場にいるような臨場感が伝わってきます。三つ目は、難しい言葉や漢字と出会えるところです。読めない漢字が出てきても、文章の流れで言いたいことは予測できます。しかし、読めないと気になってしまい本を読む手を止めて調べています。私にとってはよい勉強になっています。

次に、私のおすすめの小説家を紹介します。染井為人(そめいためひと)さんです。主に社会問題を題材に取り上げています。実際に起こった事件をもとにしているようで読んでいて緊迫感があります。最近読んだ作品を紹介します。1冊目は【悪い夏】です。生活保護受給者のもとを回るケースワーカーの主人公がだんだん闇に落ちていく物語です。ごく普通の公務員の人生が転落していく様に深く考えさせられました。2025年3月に映画化されています。2冊目は【鎮魂】です。世間を賑わせていた半グレ集団、その集団に恨みをもつ者の物語です。人間関係が様々なところで絡んでおり、全てが繋がったときには衝撃を受けました。今後は、ドラマ化、映画化されている【正体】、トー横キッズを題材にした【歌舞伎町ララバイ】も読んでみたいと思っています。

ここまで拙い話にお付き合いいただきありがとうございました。みなさんも気になる本があればぜひ手に取ってみてください。